

ISN²A 2020 国際学会にて口頭発表及びポスター発表

1月19日(月)～23日(木)にかけて、ポルトガルにてISN²A2020国際学会が開催されました。本学会は、ナノテクノロジーの研究分野における世界的に主要な学会であり、ナノテクノロジーに関する最新の研究発表や活発な議論が行われました。私は、「Establishment of a prediction model for particle size of charge- reversible LNP encapsulating siRNA using design of experiment」(実験計画法を用いた siRNA 内封型脂質ナノ粒子の粒子径予測モデルの構築)というタイトルで口頭発表とポスター発表を行いました。本研究は、siRNA という標的 mRNA を特異的に分解することで様々な疾患の治療薬となり得る物質を内封した脂質ナノ粒子の粒子径を実験計画法という統計学的方法によって制御するというものです。口頭発表では、研究に関して熱く語る海外の研究者に圧倒されてしまい、自身の発表に関して、多くの課題を見つけることができました。また、ポスター発表においては、「Excellent Shotgun Poster Presentation Prize」を受賞することができました。さらに、世界中の研究者の方々とディスカッションをしたことで、様々な気づきが得られ、有意義な学会発表となりました。このような貴重な機会を与えてくださった、本学の国際学会発表支援事業、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

薬食生命科学総合学府 博士前期課程

薬科学専攻 2年 医薬生命化学研究室 佐伯粽子

